



今年は昨年の84人を上回る108人が来場しました

TOPIC 4
久しぶりのプレーに心地よい汗

4/30 パークゴルフインチャロ無料開放日

パークゴルフインチャロが5月1日、今期の営業を開始しました。

オープン前日となるこの日は、町民と釧路市民を対象にプレー代が無料となる無料開放日。この日を待ちわびていた多くの愛好者たちが、久しぶりのプレーに心地よい汗を流していました。

町内在住の伊藤幸雄さん（67歳）は「芝の状態が昨年よりもいいですね。始めたばかりにしては、スコアもいいので、とても楽しいです」と笑顔でした。

TOPIC 5
中村さんと高橋さん 末永く幸せに!

5/2 オリジナル婚姻届第1号

釧路市在住の中村糧汰朗さんと町内在住の高橋茉央さんが「コイタ君とメイちゃん」をあしらったオリジナル婚姻届を役場に提出しました。

2人は、町に結婚生活支援や子育て支援などがあることから、今後は白糠で暮らすことを決め、2人にとって記念日となるこの日に届け出をしました。茉央さんは「オリジナル婚姻届がとてもかわいいので、ぜひ使いたかった」。糧汰朗さんは「届け出の第1号と聞いて驚きましたがうれしい」と笑顔で話していました。



白糠オリジナルの婚姻届を提出した中村さん夫婦

TOPIC 6
前浜の海産物を安く提供

5/3~5 白糠漁業協同組合「鉄砲汁」等販売

大型連休中の5月3日～5日、道の駅しらぬか恋問では、白糠漁業協同組合による毛ガニの鉄砲汁とヤナギダコのたこ飯が、1杯各300円で販売されました。

恋問館の来場者に前浜の海産物を安く提供したいと、今回初めて実施。1日約80杯が用意されました。

3日に苫小牧からドライブの途中で立ち寄ったという畠山司さんは、鉄砲汁とたこ飯の両方を購入し「とてもおいしそうですね。食べるのが楽しみです」と笑顔で話していました。



鉄砲汁やたこ飯を買い求める来場者

TOPIC 1
しらぬかフォトコンテスト オリジナルフレーム切手

4/18 しらぬかフォトコン切手贈呈式

日本郵便北海道支社は、町が実施した「しらぬかフォトコンテスト」の入賞作品などを使ったオリジナルフレーム切手を作製しました。

この日は、切手の販売を記念した贈呈式が役場で行われ、日本郵便釧路地区連合会の佐藤太一統括局長や蔵本博幸白糠郵便局長など4人が訪れました。佐藤統括局長は「さまざまな面から白糠をPRしていきたい」と話していました。フレーム切手は白糠、庶路、西庶路の町内3郵便局でのみ限定販売されています。



記念フレームを手に佐藤統括局長（左）と棚野町長

TOPIC 2
北海道は養液栽培に最適

4/20 池田英男農業博士が来町



町内の農家と意見を交わす池田農業博士（左）

NP0法人陽向ぼっこの儀同一義代表の紹介で、土を使わない養液栽培による農法を推進している池田英男農業博士（大阪府立大学名誉教授）が、町内を視察に訪れました。池田農業博士は、訪問先の農家で「土がなくても液肥を使うことで効率よく生産できるし、重労働もない」と、有機農業への取り組みを理解した上で説明し、「北海道は土地も広く、夏が涼しくて日射量も多いので養液栽培に最適な場所。こういう農業に関心があるのなら力になりたい」と話していました。

TOPIC 3
馬主来自然公園 リニューアルオープン

4/29 アイヌ文化保存会がストラップ配布

昨年改修し、冬期閉鎖期間を終えた和天別地域の「馬主来自然公園」が4月29日にオープンしました。

同園は、アイヌ伝承儀式「フンペ（クジラ）祭」の会場となっていることから、アイヌ文化保存会の会員がオープンを記念して「フンペストラップ」を配布しました。初めて同園を訪れたという釧路市在住の石田昇さんとなつえさんは「とてもいいところですね。ここから見る夕日がきれいだと聞いたので、今度は夕方に来てみようと思います」と笑顔で話していました。



フンペストラップを受け取る石田昇さんとなつえさん（左）